



## 一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



### 浜松中央地区、沼津地区安管協会の活動紹介

#### 「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和2年2月中）

浜松中央地区、沼津地区安全運転管理協会では、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年2月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等について協議しました。

#### 【浜松中央地区】

2月12日(水)、浜松中央警察署、浜松市中区役所、交通安全協会地区支部、地元自治会等関係団体とともに、浜松中央地区及び浜松西地区安全運転管理協会から役員や本年度推進事業所、事故現場付近の会員事業所の安全運転管理者等19人が参加し、合計25人により

1月31日(金)、浜松市中区富塚町地先の主要地方道で発生した交通死亡事故（軽四貨物車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の91歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は信号機のない横断歩道で、現場診断及び対策を協議した結果

- 信号機が無く横断歩行者に注意するため、横断歩道や速度減速を注意喚起する標示、看板の設置を検討

- 歩行者やドライバー、会員事業所に対する交通事故防止の広報を徹底などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】

## 【沼津地区】

2月19日(水)、沼津警察署、沼津市役所、交通安全協会地区支部、国土交通省等の関係団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から役員、事務局長等が参加、合計17人により

2月8日(土)早朝、沼津市戸田地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の93歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、乗用車の進行方向が緩い右カーブで道路左側は住宅や商店が立ち並んでおり、現場診断及び協議を検討した結果

○ 緩いカーブで速度が上り易く、また建物の間からの歩行者が見えにくい  
ため、「速度落とせ」「歩行者注意」など注意喚起する標示や看板を設置

○ 付近住民を中心として、歩行者や運転者に対する交通事故防止の広報と啓発活動を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



### 【現場で交通事故状況を分析】



### 【参加者により再発防止対策を協議】